

2024年度 決算概要

2025年5月8日

沖電気工業株式会社

- 2024年度決算と2025年度業績予想
- 事業セグメント別の概況
- 中期経営計画2025の進捗状況

全体業績

【24年度実績】

売上高は3期連続増収、5期ぶりに4,500億円台に回復
営業利益は186億円、当期純利益は125億円、ROEは8.7%
自己資本比率は35%台に達し、財務基盤は着実に回復

【25年度予想】

いずれの経営指標も中期経営計画の目標値を達成する見込み
自己資本比率は37%台、財務基盤は更に改善

株主還元

【配当】 配当性向30%以上

- 24年度期末配当：1株あたり45円（対前年/対予想15円増配）
- 25年度期末配当（予想）：1株あたり50円（3期連続増配）

まず最初に、24年度決算と25年度予想の概要を簡単に述べさせていただきます。

24年度の業績は、
エンタープライズソリューション、パブリックソリューション、コンポーネントプロダクツが堅調に推移。
EMSの需要低迷によるマイナスをカバーし、良い結果となりました。

売上高は、3期連続の増収。5期ぶりに4,500億円を越えることができました。
営業利益は、一過性のマイナス要因をカバーし、前年度水準をキープしました。
一過性要因を除く、実質的な事業利益は増加しており、収益力は向上しています。
ROE・自己資本比率とも中期計画目標をクリアし、収益性指標及び財務体質ともに着実に回復しています。

25年度の業績予想は、
いずれの経営指標ともに中期計画目標を上回る見込みです。
25年度は大口需要も一服し、直近の2年間と比較して厳しい年度となりますが
ここ2年間で事業収益力は向上し、現在の業績水準は維持できる状態となっております。

このような状況を鑑み、株主還元につきましては、一株当たりの配当を
24年度は、従来予想の30円から45円へ増配、そして25年度予想を50円としました。

2024年度 通期決算の概要

(単位：億円)	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	対前年		25年2月6日 予想	対予想	
				増減差	増減率		増減差	増減率
売上高	3,691	4,219	4,525	+ 306	(+ 7%)	4,530	△5	(△0%)
営業利益	24	187	186	△1	(△1%)	160	+ 26	(+ 16%)
営業利益率(%)	(0.7%)	(4.4%)	(4.1%)	(△0.3%)		(3.5%)	(+ 0.6%)	
参考値：営業利益 (一過性要因除く)	24	146	225	+ 79	(+ 54%)	192	+ 33	(+ 17%)
参考値：営業利益率(%) (一過性要因除く)	(0.7%)	(3.5%)	(5.0%)	(+ 1.5%)		(4.2%)	(+ 0.8%)	
経常利益	△3	183	168	△15	(△8%)	145	+ 23	(+ 16%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	△28	256	125	△131	(△51%)	95	+ 30	(+ 31%)
ROE (%)	△2.7%	21.4%	8.7%	(△12.7%)				
自己資本比率(%)	25.4%	33.3%	35.4%	(+ 2.1%)				
1株当たり配当金(円)	20	30	45	+ 15	(+ 50%)			

平均レート	23年度	24年度
USD	144.6円	152.6円
EUR	156.8円	163.7円

4 ページ こちらが具体的な決算数値です。

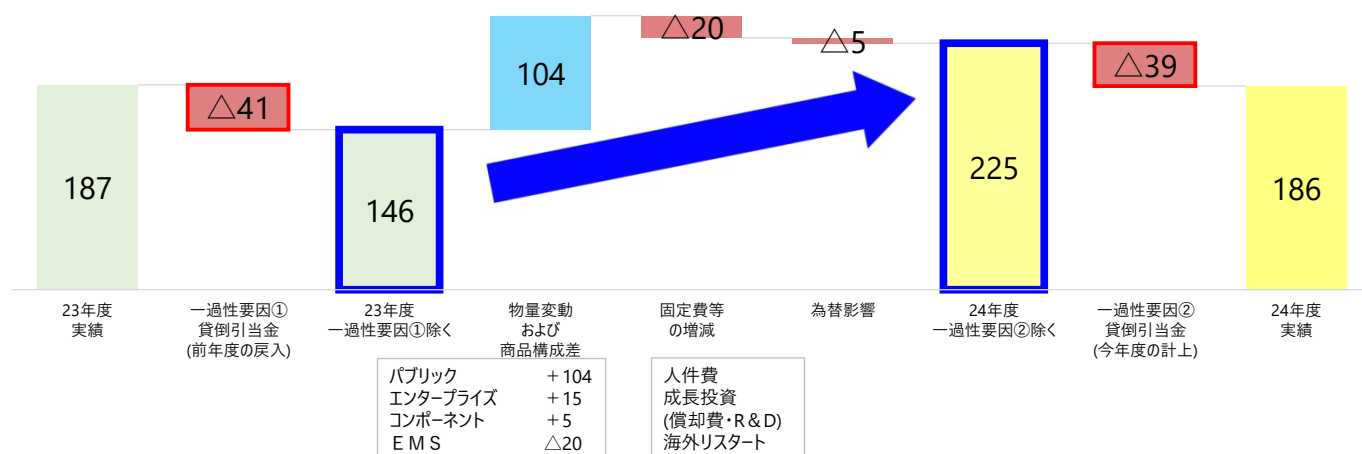
24年度売上高は、4525億円、営業利益186億円、経常利益168億円、当期純利益125億円で着地しました。ROEは8.7%、自己資本比率35.4%です。従来予想値を利益面で上回る結果となりました。

尚、当期利益が前期比で下がっているのは、23年度に法人税等調整額110億円などを計上した為です。

2024年度 営業利益の変動要因

- 一過性要因を除く、実質的な事業収益は大幅増（FY23：146億円 → FY24：225億円）
⇒ 実質ベースでは、人件費など固定費上昇後も営業利益率5%水準を確保
- パブリック・エンタープライズ・コンポーネントプロダクツは堅調でEMSのマイナスをカバー
- 中国ATM案件に係る売上債権の回収可能性の見直しを行い貸倒引当金を計上

（単位：億円）



5 ページ こちらは24年度の営業利益の変動要因です。

23年度及び24年度の一過性要因を除くと、実質約80億円利益が増加しています。事業収益力は向上し、人件費増や成長投資など、固定費20億円の増加を含んだ上で、実質的な営業利益は225億円、営業利益率で5%程度となっております。

尚、「一過性の要因」は、いずれも中国ATM案件における売上債権に係る貸倒引当金の変動です。当社は当該売上債権の代金回収について2015年より訴訟を提起しております。23年度に、最終判決をもとに不動産を押さえたことを踏まえ、貸倒引当金41億円の戻入を行いました。しかしながら、24年度に入り保全不動産の競売を実施しましたが、中国不動産市況の急激な悪化の影響を受け不調となったため、回収シナリオを見直し、39億円の貸倒引当金を再計上しました。

以上が24年度の結果です。

2025年度 通期業績予想

(単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前年	
			増減差	増減率
売上高	4,525	4,500	△25	(△1%)
営業利益	186	190	+4	(+2%)
営業利益率(%)	(4.1%)	(4.2%)	(+ 0.1%)	
経常利益	168	170	+2	(+1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	125	140	+15	(+12%)
R O E (%)	8.7%	9.4%	(+ 0.7%)	
自己資本比率(%)	35.4%	37.0%	(+ 1.6%)	
1株当たり配当金(円)	45	50	+5	(+11%)

平均レート	24年度	25年度
USD	152.6円	150.0円
EUR	163.7円	155.0円

つづきまして、6ページ 25年度の通期業績予想です。

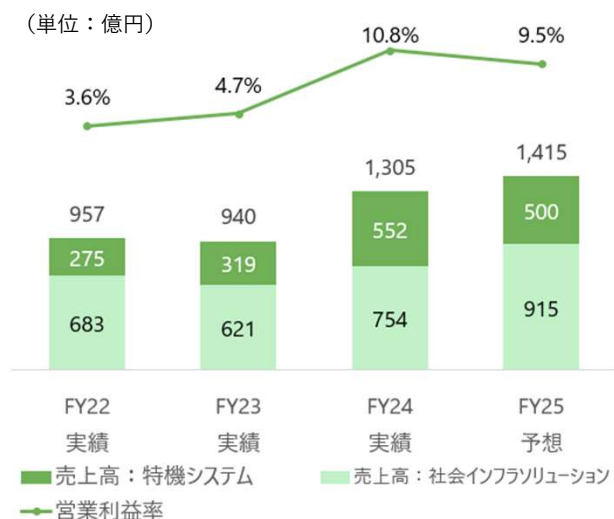
売上高4500億円、営業利益190億円、経常利益170億円、当期利益140億円、ROE9.4% です。
25年度は大口需要も一服し、直近の2年間と比較して厳しい年度となりますが、同水準の業績はクリアします。
配当は45円から50円へ増配予定です。

- 2024年度決算と2025年度業績予想
- **事業セグメント別の概況**
- 中期経営計画2025の進捗状況

次に4つのセグメントの概況について少し触れます。

セグメント別：パブリックソリューション

- 24年度：社会インフラ・特機システムともに伸長（売上1.4倍、営業利益率2倍）
- 25年度：市場環境は引き続き堅調。安定収益の継続、更なる拡大を目指す



【社会インフラソリューション】

- 消防・防災・道路市場への対応強化を継続
- キャリア向けプロダクトを自営ネットワーク市場へ展開

【特機システム】

- 防衛力整備需要拡大への一層の取り組み
- 技術開発・生産能力増強、海外展開強化

(単位：億円)	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績	FY25 予想
売上高	957	940	1,305	1,415
営業利益	34	44	141	135

1 番目「パブリックソリューション」です。

24年度は大幅に増収増益となりました。

注力している消防・防災・道路・防衛などで売上を1.4倍にできたことで、営業利益率も2倍となり、10%水準となりました。

25年度以降も市場機会は十分にあると見ており、中長期成長を見込みます。

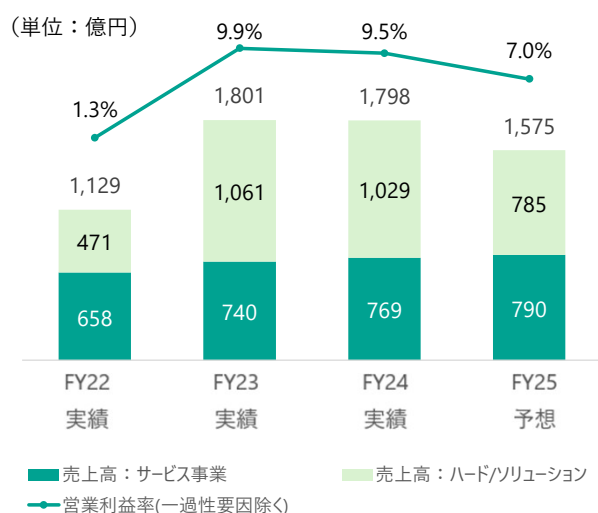
社会インフラ事業は、消防・防災・道路市場への対応強化を継続すると共に、キャリア向け商品や電力系ネットワーク案件などを強化します。

そして特機事業は、防衛力 整備需要 の拡大に沿った対応を強化します。

具体的には、技術開発・新工場建設など生産力UP、
更には海外展開を強化することで中長期成長を牽引します。

セグメント別：エンタープライズソリューション

- 24年度：前年からの新紙幣対応案件等により売上・利益とも高水準、サービス事業も堅調
- 25年度：特需剥落も継続需要・市場機会の獲得とコストダウン施策で規模・収益ともに安定化



- 国内金融市場における更改および新規需要
- インド・アジア市場におけるビジネス拡大
- ベトナム新工場の立ち上げと生産拡大によるコストダウン

(単位：億円)	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績	FY25 予想
売上高	1,129	1,801	1,798	1,575
営業利益	15	220	131	110
営業利益(一過性要因除く)	15	179	170	110
サービス事業比率	58.3%	41.1%	42.8%	50.2%

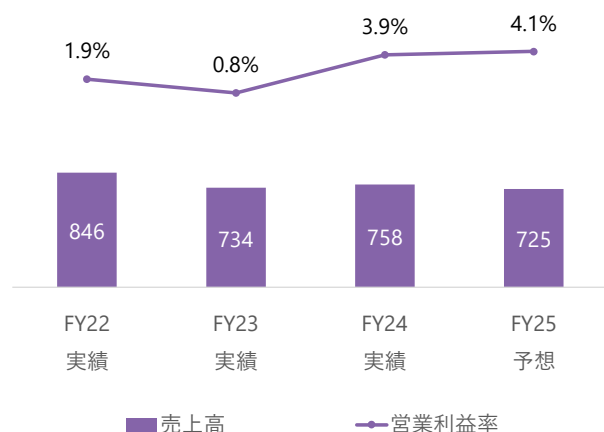
2 番目、「エンタープライズソリューション」です。

23年度下期から24年度上期にかけて
新紙幣対応などの大型案件により、売上と利益を大きく押し上げました。
併せてサービス事業も着実に伸びました。

25年度は、特需がなくなり平常期に入りますが、
国内金融市場でのシェアUPやアジア市場でのビジネス拡大、
更には国内からベトナムへの生産移管によるコストダウンなどにより、
売上規模1500億円・営業利益率 7 % 程度は確保できる見込みです。

- 24年度：利益重視のマネジメントにより前年対比営業利益を改善
- 25年度：プリンタ開発生産機能のエトリア社参画をテコに中長期での安定収益化を目指す

(単位：億円)



➤ プリンタ開発生産機能のエトリア社への10月統合

- エトリア社におけるLEDプリントヘッド技術の活用による商品競争力アップ
- 部品共通化とエトリア社のバイイングパワーによるコストダウン力の拡大
- 商品ラインナップの効率的な強化 (複合機再ラインナップ)

(単位：億円)	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績	FY25 予想
売上高	846	734	758	725
営業利益	16	6	29	30

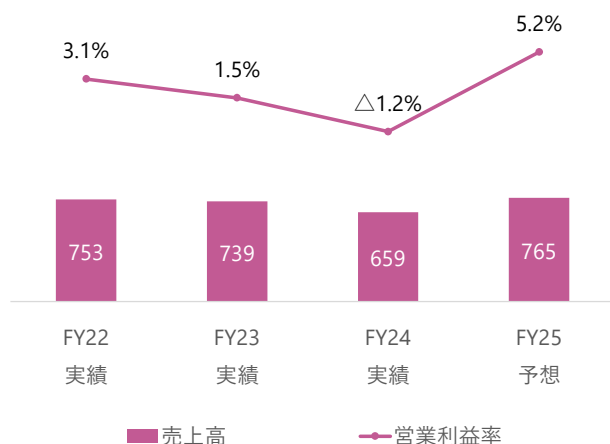
3 番目、「コンポーネントプロダクツ」です。

24年度は、利益重視のマネジメントにより収益を改善しました。
同時に、プリンタ事業のエトリア社への参画など構造改革にも着手しております。

25年度は、24年度並みの業績を維持しつつ、開発生産部門のエトリア社への合流を実行します。
この枠組みで、効果的な商品開発とコストダウンを実現し、中長期的な利益UPを図っていきます。

- 24年度：半導体市場やFA・ロボット市場の低迷長期化により2期連続減収減益
- 25年度：収益力回復に注力、次期中期計画に向け戦略再検討

(単位：億円)



➤ カントリーリスク等に伴う国内生産回帰需要の新規獲得

- ・「まるごと生産サービス」へメニューを拡大・強化
- ・活況なAI半導体向け、宇宙・防衛向けプリント配線板需要の獲得

➤ 生産ロケーションおよび投資の最適化

(単位：億円)	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績	FY25 予想
売上高	753	739	659	765
営業利益	23	11	△8	40

そして4番目「EMS」です。

24年度は、半導体市場やFA・ロボット市場の低迷長期化により、ケーブル・基板などの部品事業が大きく落ち込み、2期連続減収減益で厳しい状況となりました。

25年度は、大きな市況回復を期待せず、堅実なマネジメントに徹します。市況任せの状態を脱却すべく、積極的な新規顧客開拓を行います。また、生産ロケーション及び投資の最適化に取り組み、

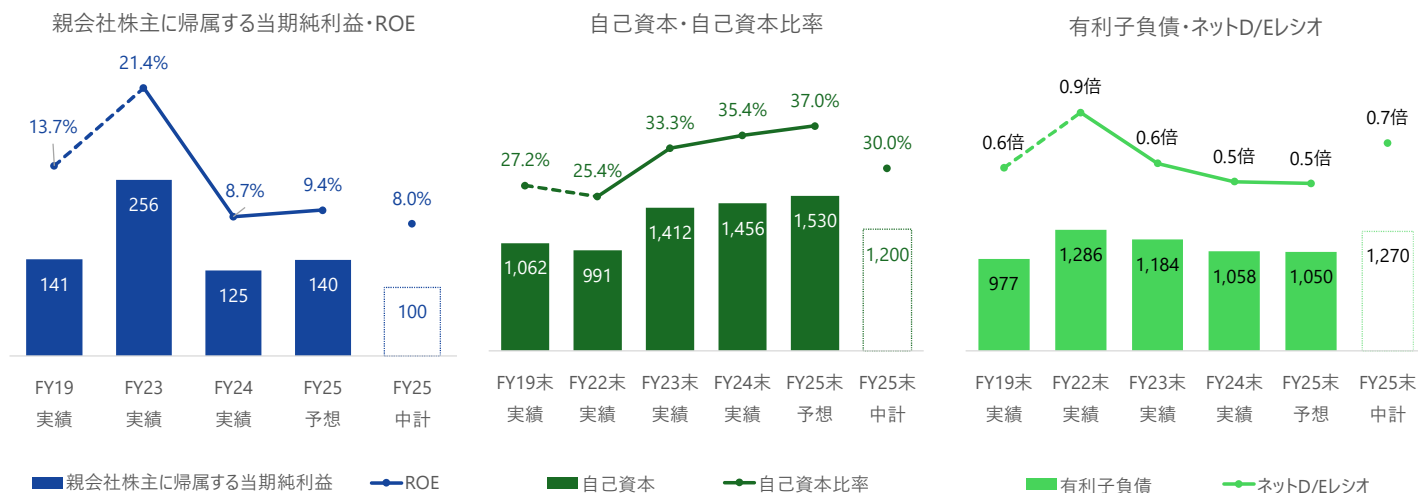
- 2024年度決算と2025年度業績予想
- 事業セグメント別の概況
- 中期経営計画2025の進捗状況

最後に、中期計画の進捗状況についてご説明します。

中期経営計画2025の進捗状況（経営目標）

- 売上高、営業利益 : 中計目標達成に向けて順調な進捗（2019年度水準まで回復）
- 当期純利益、ROE : 中計目標の8%をクリア、10%以上を目指し進展中
- 有利子負債と自己資本 : 中計目標を前倒しで達成、財務基盤は着実に回復

（単位：億円）



13ページ こちらは経営数値面になります。

売上高・営業利益は、中期計画達成に向けて進捗。

水準としては、近年で好調であった19年度水準まで回復しました。

当期純利益は中期計画目標100億円に対して140億円。

ROEは目標8%に対して9.4%、

自己資本比率は目標30%に対して37%。

ネットD/Eレシオ目標0.7倍に対して0.5倍。

いずれも中期計画目標を前倒しでクリアし財務基盤は着実に回復しています。

成長事業	パブリックソリューション	成長事業として堅調に推移 + 防衛の追い風
	EMS	25年度は収益力回復に注力、次期中期計画で戦略再検討
安定化事業	エンタープライズソリューション	25年度で安定収益化を完了、次期中期計画で「安定化事業」から脱却
	コンポーネントプロダクツ	エトリア社参画により構造改革の推進に目途
将来事業創出	・CFBはフォトニクス、パワー半導体の26年度量産化に向け、25年度に準備を完了 ・グローバルサウス地域での社会課題解決を目指し、スタートアップ企業との連携加速	

⇒次期中期経営計画で「成長への舵切り 2ndステージ」の具体化

14ページ 事業状況を改めて整理したものです。

パブリックソリューションは堅調。防衛の追い風もあり、コア事業として中長期成長を目指します。

EMSは、25年度は収益回復に注力し、中長期の戦略を練り直します。

エンタープライズソリューションは、事業の安定化が図れていますので、更なる成長機会を模索します。

コンポーネントプロダクツは、エトリア社参画の効果を実現し、中期での安定収益化を目指します。

そして将来事業は、CFB技術の事業化やアジアでのビジネス開拓などを着実に進め、次期中期計画の中で事業化を実現していきます。

尚、次期中期計画は、今年度中に発表できるよう準備を進めていることをお伝えし、私からのご説明を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

以下補足資料

(補足) 2024年度 セグメント別売上高/営業利益

(単位：億円)		23年度	24年度	対前年		25年2月6日	対予想	
		実績	実績	増減差	増減率	予想	増減差	増減率
パブリック ソリューション	売上高	940	1,305	+365	(+39%)	1,320	△15	(△1%)
	営業利益	44	141	+97	(+220%)	110	+31	(+28%)
	営業利益率	(4.7%)	(10.8%)	(+6.1%)		(8.3%)	(+2.5%)	
エンタープライズ ソリューション	売上高	1,801	1,798	△3	(△0%)	1,780	+18	(+1%)
	営業利益	220	131	△89	(△40%)	150	△19	(△13%)
	営業利益率	(12.2%)	(7.3%)	(△4.9%)		(8.4%)	(△1.1%)	
コンポーネント プロダクツ	売上高	734	758	+24	(+3%)	760	△2	(△0%)
	営業利益	6	29	+23	(+383%)	20	+9	(+45%)
	営業利益率	(0.8%)	(3.8%)	(+3.0%)		(2.6%)	(+1.2%)	
E M S	売上高	739	659	△80	(△11%)	670	△11	(△2%)
	営業利益	11	△8	△19	(△173%)	-	△8	(±0%)
	営業利益率	(1.5%)	(△1.2%)	(△2.7%)		(0.0%)	(△1.2%)	
その他	売上高	4	4	0	(±0%)	-	+4	(±0%)
	営業利益	△11	△15	△4	(+36%)	△18	+3	(△17%)
消去・本社費	営業利益	△83	△92	△9	0	△102	+10	(△10%)
連結合計	売上高	4,219	4,525	+306	(+7%)	4,530	△5	(△0%)
	営業利益	187	186	△1	(△1%)	160	+26	(+16%)
	営業利益率	(4.4%)	(4.1%)	(△0.3%)		(3.5%)	(+0.6%)	

(補足) 2025年度 通期業績予想

(単位：億円)		24年度 実績	25年度 予想	対前年	
				増減差	増減率
パブリック ソリューション	売上高	1,305	1,415	+110	(+8%)
	営業利益	141	135	△6	(△4%)
	営業利益率	(10.8%)	(9.5%)	(△1.3%)	
エンタープライズ ソリューション	売上高	1,798	1,575	△223	(△12%)
	営業利益	131	110	△21	(△16%)
	営業利益率	(7.3%)	(7.0%)	(△0.3%)	
コンポーネント プロダクツ	売上高	758	725	△33	(△4%)
	営業利益	29	30	+1	(+2%)
	営業利益率	(3.9%)	(4.1%)	(+0.2%)	
E M S	売上高	659	765	+106	(+16%)
	営業利益	△8	40	+48	-
	営業利益率	(△1.2%)	(5.2%)	(+6.4%)	
その他	売上高	4	20	+16	(+345%)
	営業利益	△15	△15	△0	-
消去・本社費 連結合計	営業利益	△92	△110	△18	-
	売上高	4,525	4,500	△25	(△1%)
	営業利益	186	190	+4	(+2%)
	営業利益率	(4.1%)	(4.2%)	(+0.1%)	
	経常利益	168	170	+2	(+1%)
	当期純利益	125	140	+15	(+12%)

平均レート	24年度	25年度
USD	152.6円	150.0円
EUR	163.7円	155.0円

(補足)エンタープライズソリューション：従来区分内訳

(単位：億円)

A) 旧区分

(単位：億円)	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績
売上高：ハード/ソフト	637	1,258	1,243
売上高：工事・保守	492	544	555
売上高：計	1,129	1,802	1,798
営業利益：ハード/ソフト	△49	71	79
営業利益：工事・保守	64	108	91
営業利益：一過性要因	-	41	△39
営業利益：計	15	220	131

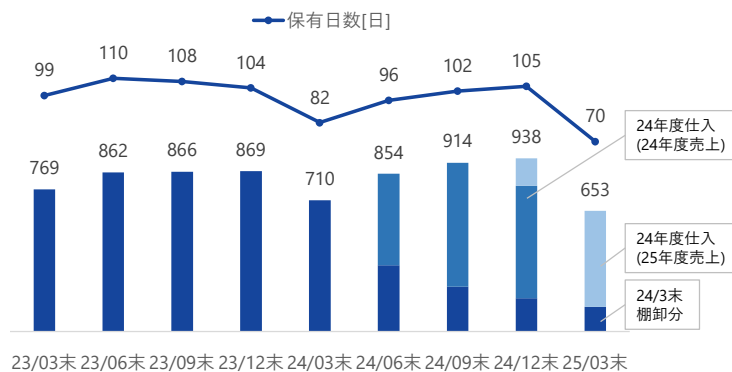
B) 新区分

(単位：億円)	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績
売上高：ハード/ソリューション	471	1,061	1,029
売上高：サービス事業	658	740	769
売上高：計	1,129	1,801	1,798

(補足) 2024年度 B／S 流動・固定内訳

(単位：億円)	24年 3月末	25年 3月末	期首差
流動資産	2,397	2,319	△78
固定資産	1,837	1,791	△46
資産	4,234	4,110	△124
流動負債	1,884	1,670	△214
固定負債	937	982	+45
負債	2,821	2,652	△169
自己資本	1,412	1,456	+44
その他	1	1	+0
純資産	1,413	1,457	+44
負債及び純資産合計	4,234	4,110	△124

自己資本比率(%)	33.3	35.4	+2.1
DEレシオ(倍)	0.8	0.7	△0.1



(補足) 2024年度 キャッシュフローの概要

(単位：億円)	23年度 実績	24年度 実績	対前年 増減差
I 営業キャッシュフロー	247	393	+ 146
II 投資キャッシュフロー	△143	△196	△53
フリー・キャッシュフロー(I + II)	104	197	+ 93
III 財務キャッシュフロー	△157	△179	△22

固定資産取得額	170	168	△2
減価償却費	142	150	+ 8

(単位：億円)	24年3月末 実績	25年3月末 実績	期首差
現金および現金同等物の残高	344	362	+ 18

(補足) 2025年度 投資およびキャッシュフロー

投資等 (単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前年 増減差
設備投資 (有形＋無形)	185	220	+35
減価償却費 (有形＋無形)	132	160	+28
研究開発投資	110	100	△10

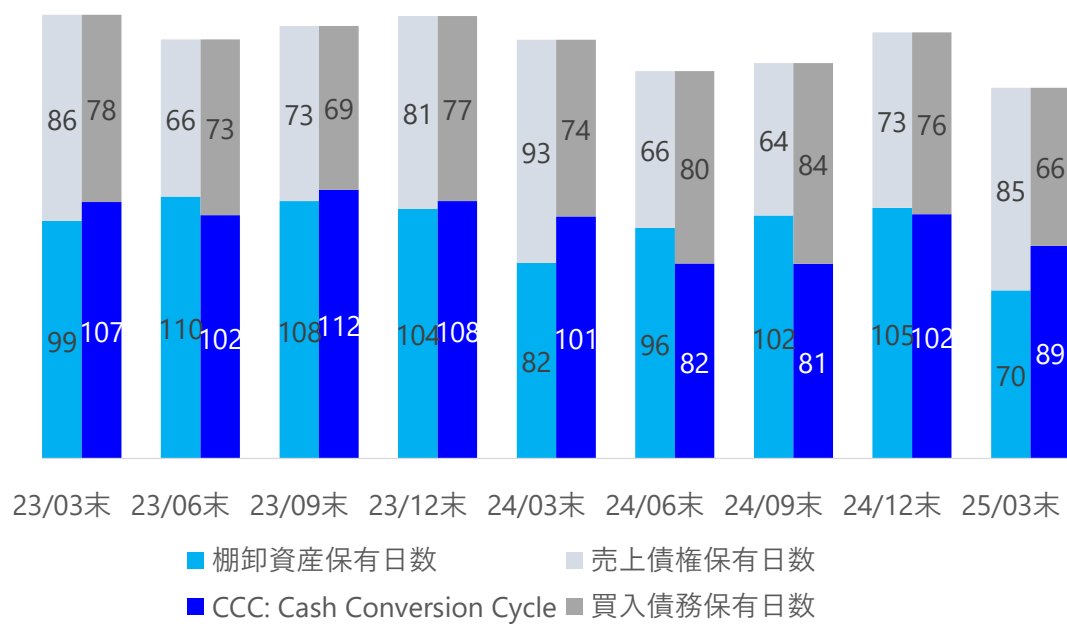
キャッシュフロー (単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前年 増減差
I 営業キャッシュフロー	393	280	△113
II 投資キャッシュフロー	△196	△210	△14
フリー・キャッシュフロー (I＋II)	197	70	△127

(補足)セグメント別売上高/営業利益（四半期別推移）

(単位：億円)		23年度					24年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
パブリックソリューション	売上高	193	200	245	301	940	191	222	290	602	1,305
	営業利益	△1	△7	14	39	44	△13	7	32	114	141
エンタープライズソリューション	売上高	274	365	515	647	1,801	452	419	454	474	1,798
	営業利益	19	20	66	114	220	78	35	5	14	131
コンポーネントプロダクツ	売上高	170	179	185	200	734	179	187	192	199	758
	営業利益	△8	13	△8	9	6	△1	11	12	8	29
E M S	売上高	177	188	171	203	739	156	168	157	178	659
	営業利益	6	3	△1	3	11	△6	△4	△6	8	△8
その他	売上高	1	1	1	1	4	1	1	1	2	4
	営業利益	△1	△3	△3	△4	△11	△4	△3	△2	△4	△15
消去・本社費	営業利益	△14	△15	△22	△32	△83	△16	△22	△26	△29	△92
連結合計	売上高	815	933	1,118	1,353	4,219	979	997	1,093	1,455	4,525
	営業利益	0	10	48	129	187	39	23	15	110	186

(補足)主要運転資本：保有日数の推移

(単位：日)



(補足)各セグメントの主な製品およびサービス

パブリック ソリューション	• 道路（ETC／VICS）、航空管制、防災、消防 • 中央官庁業務システム、政府統計システム • 防衛システム（水中音響／情報） • 航空機器 • インフラモニタリング • キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G
エンタープライズ ソリューション	• ATM、現金処理機 • 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末 • ATM監視・運用サービス • 金融営業店システム、事務集中システム • 鉄道発券システム、空港チェックインシステム • 製造システム（ERP／IoT） • 工事・保守サービス
コンポーネント プロダクツ	• AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW • PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター • クラウドサービス • LEDプリンター
EMS	• 設計・生産受託サービス • プリント配線板

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。